

① 暮らしのなかの水とごみ

1 暮らしと水

(1) ふえる水の使用量

わたしたちは、学校や家庭でたくさんの水道水を使って生活しています。ふえてきている水の使用量のようすを調べてみよう。

① 学校や家の使用量

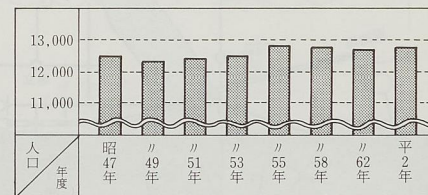
	使用人数	しゃ口	1カ月の使用量	1日あたりの使用量	1人1日あたりの使用量	8ℓ入りのバケツで
K小学校	155	143	900,000ℓ	2,466ℓ	16ℓ	2はい分
B先生の家	3	7	24,000ℓ	774ℓ	258ℓ	32はい分
わたしの家						

② 山川町の水道水の使用量

右のグラフのように、毎年水の使用量はふえてきたので、昭和56年に水道管を太いものにとりかえ、配水池も大きなものに作りかえ、使用量がふえても、ゆとりをもって給水できるようになりました。

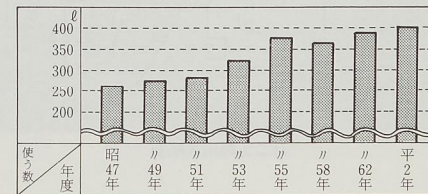
右の2つのグラフを結びつけて、これからの水の使用について考えてみよう。

人口のうつりかわり (平成3年役場しらべ)



1人が1日に使う水の量のうつりかわり

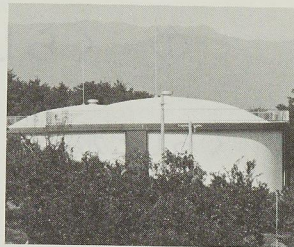
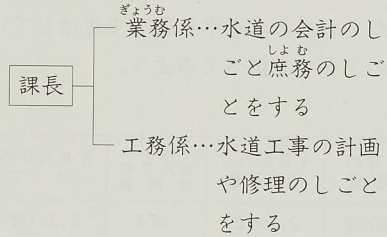
(平成3年役場しらべ)



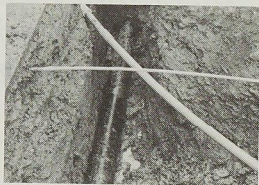
(2) 役場の水道課をたずねて

わたしたちは、1日も水なしでは生きていけません。水道課では、町のみなさんにその大切な水をおくるために、下のよう係をきめて仕事をしています。

① 水道課のしくみ

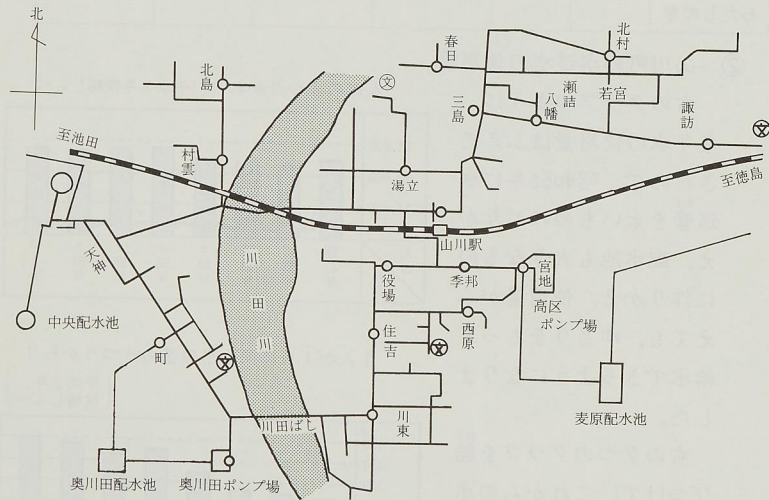


大きくつくりかえられた配水タンク



水道かんのとりかえ工事

② 山川町の上水道の平面図 (平成3年 役場・水道課しらべ)



(3) 水道のはじまり

むかしは、ほとんどの家に井戸があり、つるべや手おしポンプを利用して、水をくんでいました。

でも、八坂地区は高台にあるので、のみ水にずいぶん苦勞しました。そこでみんなが努力して、昭和8年ごろ、かんい水道が建設されました。

その後、川田川が鉍毒や製紙工場から流す「はい液」によってよごれ、地下水も飲料水として使えなくなりました。昭和33年には給水車3台で、水を川東・町・湯立などに運んだこともありました。

このことがもとで、昭和33年に町・川東・北島・季邦・西の原・湯立・瀬詰地区970戸に水道ができました。その後だんだん広められ、今では、ほとんど全町に水道がひかれ大へん便利になりました。

係の人の話



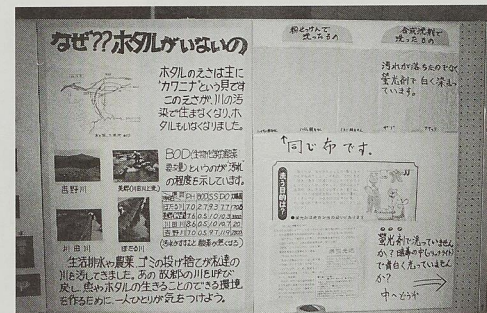
水道管はまるで人の血管のよう。大切な飲み水を休みなく運んでいます。少しでも破れたらさあたいへん、夜でも、修理に出かけます。私たちは、水のお医者さんです。

(しりょう)

使った水のゆくえ… (下水)

家庭からも工場からも、使われた水が、ゴミと同じようにできます。これをうまくしよりしないと、川などがよごれてしまいます。

右の写真は、町の文化祭で、展示されていたものです。

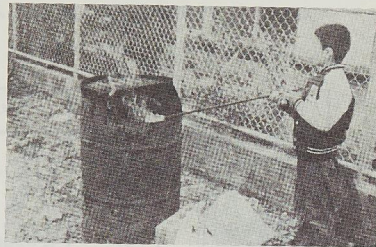


洗剤と川のよごれ

安子さんの発表

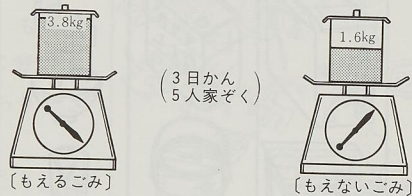
「わたしの家ぞくは5人家ぞくです。3日間で台所の野さいくずなどが、ポリバケツいっぱいになります。

紙くずなどのもやせるものは、家でもやしています。また古い新聞紙やぎっしは、たくさんためてちり紙こうかんに出します。」



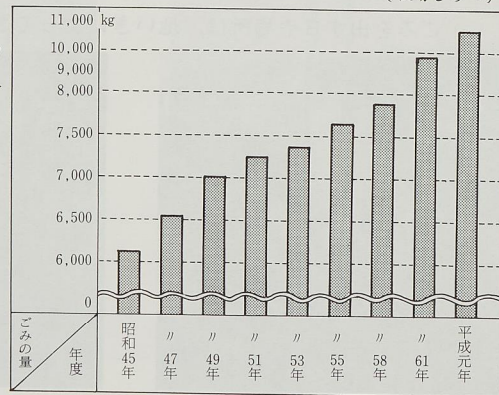
ドラムかんのしょうきゃくろ

秋子さんの家のごみ



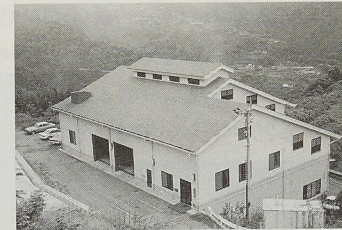
- ごみの量のうつりかわりは右のグラフのようになっています。

山川町で1日にできるごみの量のうつりかわり
〔平成元年 役場しらべ〕



- 1人1日約1キログラムのごみを出すといわれています。

出されたごみは、しゅうしゅう車で川田山地区にある「山川町環境センター」に運ばれ、しゅりされています。



山川町環境センター

また、かんや鉄くずなどの金ものは、山瀬のすわ東のしゅり工場に集められ、つぶしてかため^{べつ}、別の工場へ送ってどかし、新しい金ものにつくりかえています。



かためられたかんや金ぞく

(2) 役場の係をたずねて

- ① ごみの集めかた

役場では、ごみの量がだんだんふえ続けてきたので、山川町を2つの地区に分け、曜日やごみの種類^{しゅるい}をきめて、下の表のように指定して集めています。

山川町ゴミ収集日程
昭和62年4月1日より〔平成3年役場 環境センター調べ〕

指定日でも祭日はお休みします		
収集日	もやせるごみ	もやせないごみ
収集地区名	毎週	毎月2回
川田地区	月・木	第2・4週水
山瀬地区	火・金	第1・3週水

もやせるごみともやせないごみをまぜて出してある人や、かん・びんを分けていない人が、まだまだ多くいて、せいりにこまっているということです。

まず初めに、トラックではこんできたごみを、トラックスケールでけいりょうし、ごみホッパーに入れます。

次にきゅうじんそうちによってしょうきやくるにおくられます。

しょうきやくろは、バーナーからふき出す高い熱でよくもえるようになっていきます。

もえてできた灰は、ダストコンベアーによって灰バンカーから車の中へしぜんにはいるしくみになっています。

ごみのしょうきやくによってできたこまかい灰やちりが、大気をよごさないように電気しゅうじんきによって、けむりをきれいにする工夫もされています。

またしょうきやくによって発生するガスは、上部ねんしょうしつでねんしょうさせ、外部に出ない工夫もしています。

しょうきやくろでごみもえる時に出る熱を利用して湯をわかしたりおふるに利用したり、だんぼうにも利用するようにしています。



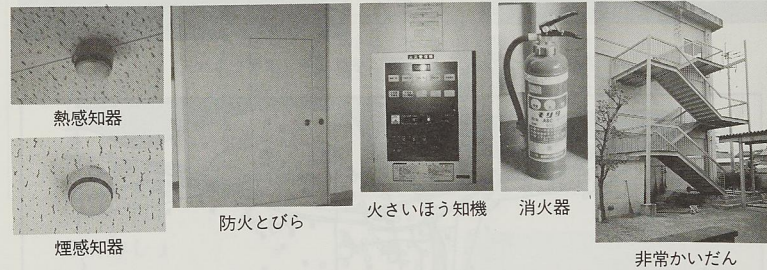
② 安全なくらし

1 火事をふせぐ

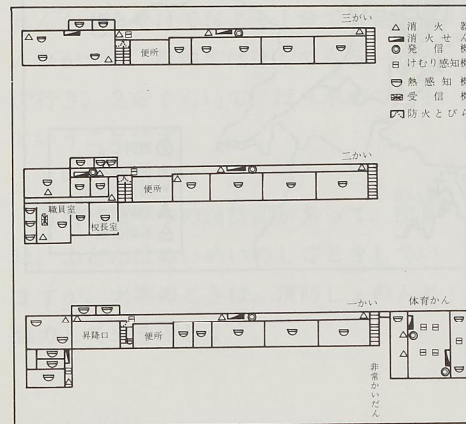
(1) 学校の消防しせつしらべ

学校には、火事がおきたとき、人がいなくてもそれを感じて気づかせる火災感知器や、火事を見つけた人が、はやく知らせるための火災ほう知機などがあります。

また、消火器も校しゃ内の目につきやすい所においてあります。



学校の防火しせつしらべ (川田西小学校)



消火せん

(2) 地いきの消防しせつ

町では、火事をふせぐしせつとして、消火せんや防火水そうなどのしせつをつくっています。

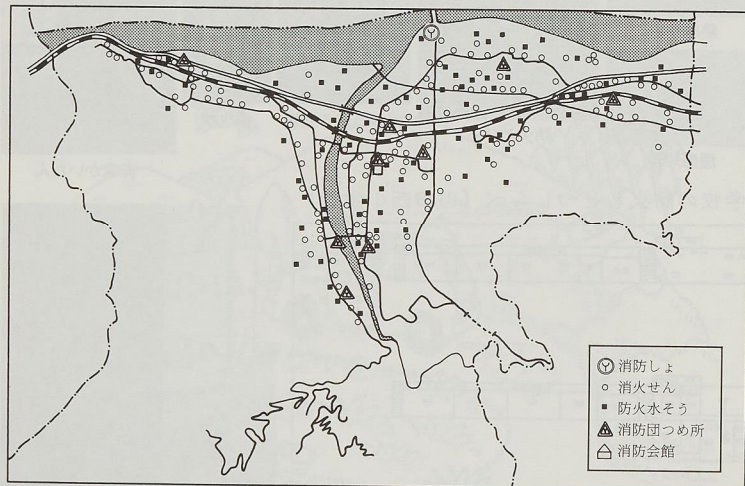
消火せんは町内で155か所、防火水そうは102か所つくられ、消防しよの人がいつでも使えるように、たえずけんさをしています。



町内のあちらこちらにつく
られてる消火せん(左)
や防火水そう(右)



消防しせつのあるところ (平成3年 役場しらべ)

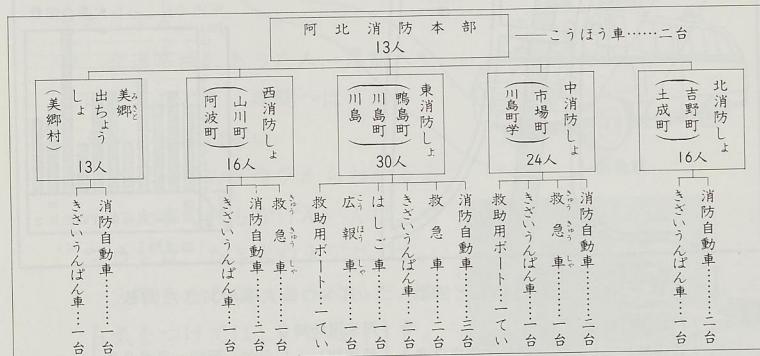


(3) 消防しよの見学

① 消防しよのしくみ

山川町にある消防しよは、山川町と阿波町をうけもつ^{あはく}阿北消防組合西消防しよです。

阿北消防組合は、いつ火事がおきても、すぐ消しに行けるように、5か所に消防しよをつくっています。



西消防しよ

西消防しよの人の話によると、火事のれんらくを受けておよそ1分でお発じゅんびがで、町内では遠くても5~6分で行き、2分ぐらいて、ほう水ができるということです。

町の消防団

町内には9つの消防団があつて、^{だんいん}団員は、ふだんはめいめいのしごとをしています、火事のはときは、消防しよの人と協力して火を消します。

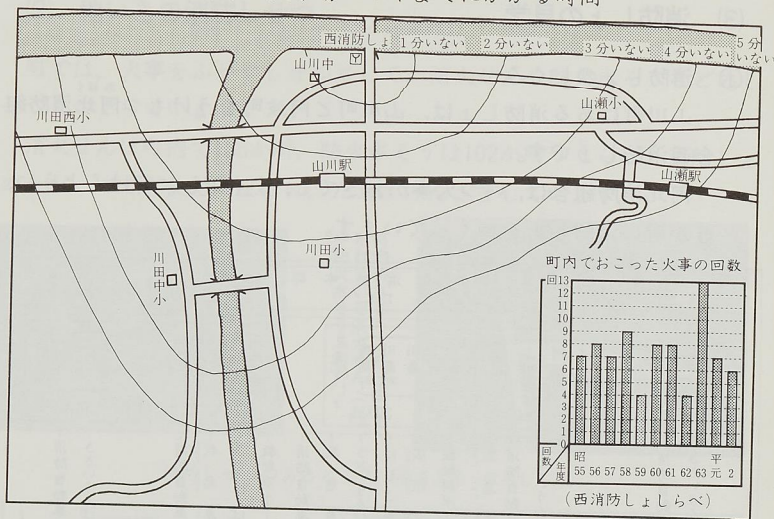


阿北消防組合西消防しよ



山川町消防会館

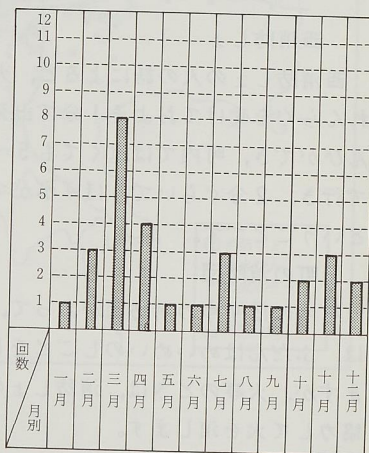
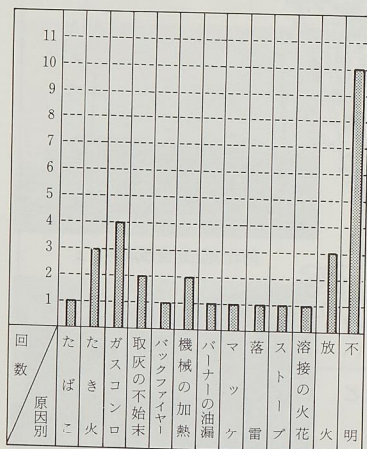
消防車が火事場へつくまでにかかる時間



火事をおこしたげんいんと回数 月べつの火事のおきた回数

阿北消防組合
西消防しよしらべ 昭63~平成2年

阿北消防組合
西消防しよしらべ 昭63~平成2年



② 消防しよのしごと

ア 火事を消す。

イ 火事をふせぐ。

学校・工場・病院・住たくなどへ行って、火事をふせぐせつびがどのっているか、いつでも使えるようになっているか、などを調べたり教えたりする。

ウ 交通事故にあった人、急病人やけが人などを、病院へはこぶ。

③ 消防しよのねがい

○ 82ページのグラフからわかるように火事のおもなげんいは、ガスコンロ、たき火の火などです。

火事をださないようにふだんから気をつけてほしいと思います。

○ 火事がおきたとき、消防しよへの電話れんらくは、おちついて火事の場所を正しくつたえてください。

・消防しよの電話番号は、119番です。

・はじめのことは「火事です。」

・場所、ようす……「ところは、山川町〇〇です。目じるしは〇〇の北〇〇メートルぐらいです。」

○ 消防自動車のサイレンをきいたら走りやすいようによけて、道をゆずり、早く火事場に行けるようにしてください。

○ つねに消火せんの近くには、物をおいたり車をどめたりしないようにしてください。

○ たくさんの物を庭や畑でもやすどきは、電話で知らせておいてください。



消防自動車



救急車



通信室

〔火事のれんらくをうけたり
出動をつけるところ〕

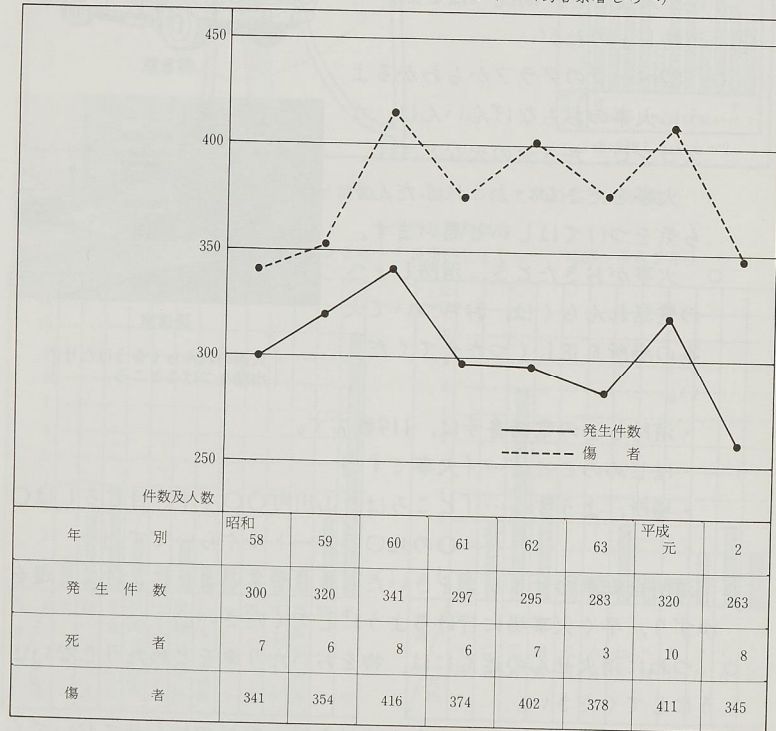
2 交通事故をふせぐ

(1) ふえつづける交通事故

全国的に交通事故は、ふえつづけており、おこった交通事故の件数はへっているものの、死者の数はふえており、3年つづけて、1万人をこえています。

川島けいさつしょのしりょうによると、徳島県全体でも死者の数がふえています。

麻植郡の交通事故のうつりかわり (平成3年 川島警察署しらべ)

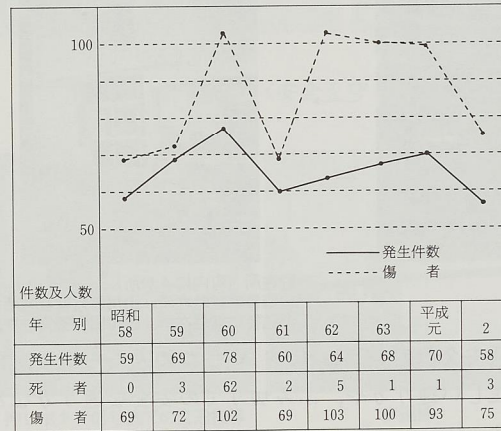


(2) 事故の多い国道192号線

交通事故分布図を見ると、とくに国道192号線に事故が集中しており、なくなったり、けがをした人がふえています。

事故のげんいんは、子どもの道路へのとびだし、車のスピードのだしすぎ、わき見運転などが多いそうです。

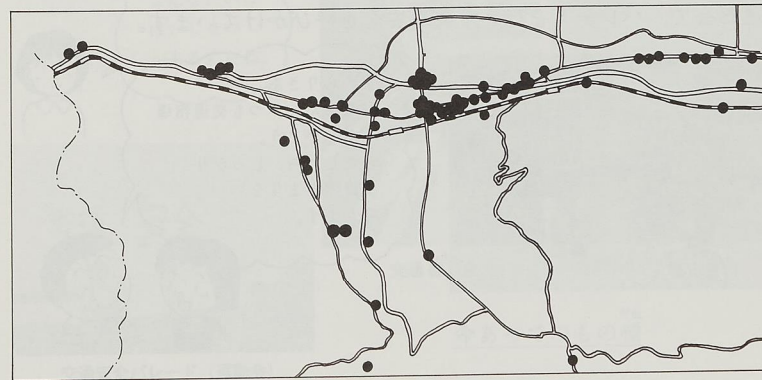
山川町の交通事故のうつりかわり (平成3年、川島警察署 麻植交通安全協会しらべ)



国道192号線での事故発生のようす

平成2年	124件
元 "	156 "
昭和63 "	142 "
62 "	150 "
61 "	146 "
60 "	170 "
59 "	154 "
58 "	171 "

交通事故分布図



(3) 交通事故のない町に

けいさつしょでは、安全を守るしせつをとどのえたり、事故をおこさないようにするための注意をよびかけたりして、事故をへらそうと昼も夜も活動しています。

〈活動するけいさつ〉



川島警察署
けいさつしょ



駐在所 (町内に4か所)
山崎警察官駐在所, 山川警察官駐在所
瀬語警察官駐在所, 西川田警察官駐在所

各学校でも、毎年交通安全教室が行われ、けいさつの人たちから、自転車の乗り方、道路の正しい通り方や、ふみ切りでの安全な通り方などを教えてもらっています。

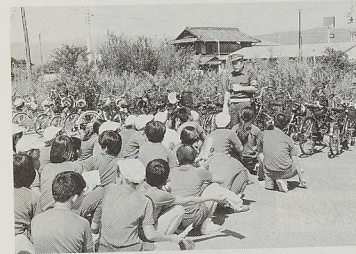
また、交通安全母の会が中心となって、朝の交通指導しどろをしてくれたり、運動会で、パレードを行い、交通安全を呼びかけています。



おまわりさん
お母さん、いつも交通指導
ありがとう。
わたしたち、しっかり
交通のきまりを
守ります。



〈ふみきりの通行〉

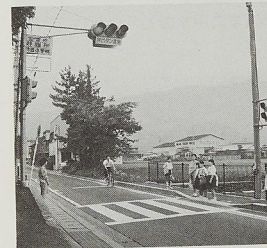


ふみ切りの通り方の説明

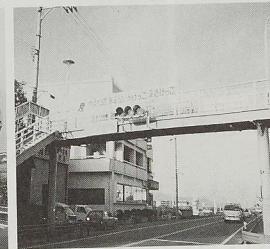


ふみ切りの通り方教室

〈安全を守るしせつ〉



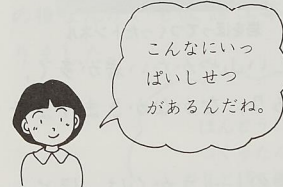
押しボタン信号機での交通指導



歩道橋



カーブミラーと信号機



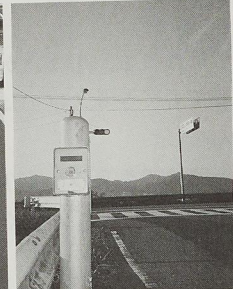
こんなにいっぱいしせつがあるんだね。



交通安全パレード (運動会)



交通標しき



押しボタン式信号機

命あつてのもの種だね

③ くらしを高めるねがい

1 用水をひく

(1) 川また用水

田の多いところで、わかった「青木でんだい」は、ひろびろとした一面の田んぼで、山川町でも米のたくさんとれるところです。だが、高台にあるため、むかしは水の便がわるく、さつまいもや桑などがつくられていました。

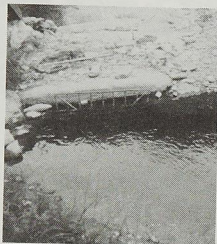
そのころの生活では、米がいちばん大切な作物で、だれもが米を少しでも多くつくりたいと願っていました。

天保時代(約150年前)のころから、^{てんぽう}麦原や青木の畑作地に水をひいて田にしたいと多くの人が、たちあがりました。

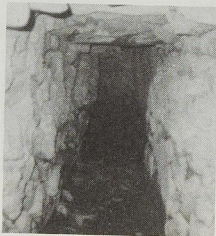
けれども、川またから水を引くには、けわしい山やかたい岩が多く、とてもできる工事ではないと、反対する人もあり、なかなかきまりませんでした。

明治27年夏のひでりはとくにひどく、農作物のしゅうかくは、ほとんどないといってよいぐらいでした。これを機会として、川また用水をつくるための会ができ、明治31年6月に工事ははじめ明治32年6月にできあがりました。

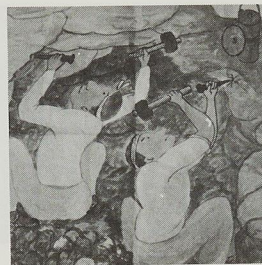
工事は山が大変けわしく、3か所は岩をほりぬいて、トンネルをつくり(長さ200メートルぐらい)、全長およそ7キロメートルの用水がやっどできあがったということです。



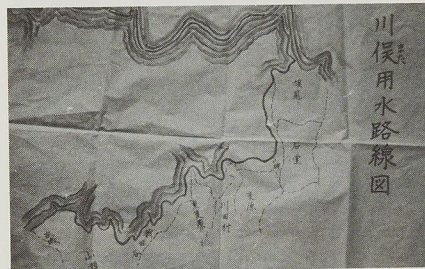
川また用水のとりいれ口



岩をほってつかったトンネル



トンネル内で工事している図

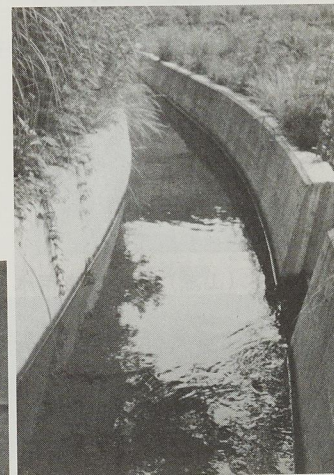


川また用水路の絵地図

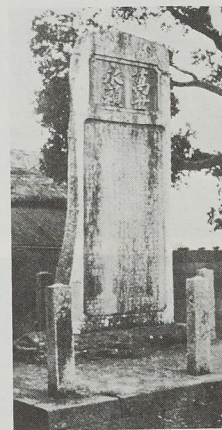
この川また用水ができたために、^{はた}旗見・西麦原・^{こじょう}東麦原・住吉・青木・古城・八坂などのおよそ100ヘクタールの水田がうるおされるようになり、その後なんかいも改修工事が行われ、今の用水になりました。



ほんとうにくろうして
つくったんだなあ。
やりとげる強い心が
あったからできたん
だらうなあ。



今の川また用水



川また用水の開たくに
努力した人々の記念碑

(2) そのほかの用水

そのほかの地区でも、左のような用水が開発されています。

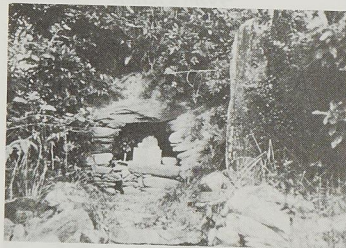
(用水路)	(うるおされている面積)
○翁喜台用水 <small>おきだい</small>	34.7ヘクタール
○川田西用水	42.7ヘクタール
○湯立土地改良用水	24.8ヘクタール
○川田耕地整理用水	96.2ヘクタール
○天神(山瀬)土地改良用水	11.9ヘクタール

2 いせきや自然を守る

山川町には、どんないせきがあるのだろう。

開発が進むと、自然がはかいされるといわれたりする。

—— どうすればよいのだろうか ——



西の原こふん



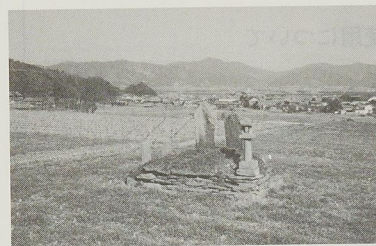
西川田の大ぐす



いんべ神社



高越寺山門



井上城跡



光明真言碑



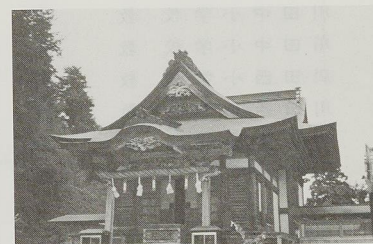
青木城址



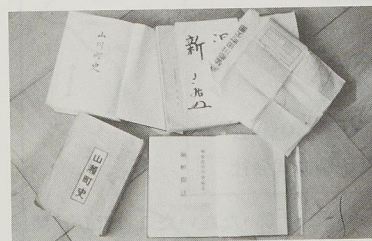
旗見のかま跡



いんべこふん



高越寺本堂



むかしを伝える町誌



季邦遺跡出土品

この副読本の使用について

この本は、新しい教科書の編集順序を考慮するとともに、児童が「学習の主体者」であるとの意識をいっそう確かなものにしていくことを願って作成しました。

したがって、新しい教育課程の趣旨をふまえ、学習単元の構成に際しては、具体的に、どの資料を、どのように利用するかということについて、「現地学習」との関係等を十分検討したうえで、指導計画を工夫してください。

編集委員

山川町教育研究所	所長	大栗春雄
山川町教育研究所	主任研究員	工藤正隆
山川町教育研究所	研究員	森熊太郎
山瀬小学校	教諭	大北恭宏
山瀬小学校	教諭	森下隆
川田小学校	教諭	原田ノリ子
川田小学校	教諭	細井誠
川田中小学校	教諭	森本義博
川田中小学校	教諭	河西茂子
川田西小学校	教諭	大山真理恵
川田西小学校	教諭	明石貴仁
川田中幼稚園	教諭	正木美智枝
山川中学校	教諭	鈴田真二

「わたしたちの町山川」

平成4年3月25日 発行（非売品）

編集 山川町教育研究所
大栗春雄

発行 山川町教育委員会

印刷所 徳島県教育印刷株式会社

※なお、本書の編集に際し、初版本等を参照させていただいたこと及び、関係諸機関のご協力を賜ったことに対し、心からの感謝を申し上げます。



この副読本の使用について

この本は、新しい教科書の編集順序を考慮するとともに、児童が「学習の主体者」であるとの意識をいっそう確かなものにしていくことを願って作成しました。

したがって、新しい教育課程の趣旨をふまえ、学習単元の構成に際しては、具体的に、どの資料を、どのように利用するかということについて、「現地学習」との関係等を十分検討したうえで、指導計画を工夫してください。

編集委員

山川町教育研究所	所長	大栗春雄
山川町教育研究所	主任研究員	工藤正隆
山川町教育研究所	研究員	森熊太郎
山瀬小学校	教諭	大北恭宏
山瀬小学校	教諭	森下隆
川田小学校	教諭	原田ノリ子
川田小学校	教諭	細井誠
川田中小学校	教諭	森本義博
川田中小学校	教諭	河西茂子
川田西小学校	教諭	大山真理恵
川田西小学校	教諭	明石貴仁
川田中幼稚園	教諭	正木美智枝
山川中学校	教諭	鈴木真二

「わたしたちの町山川」

平成4年3月25日 発行（非売品）

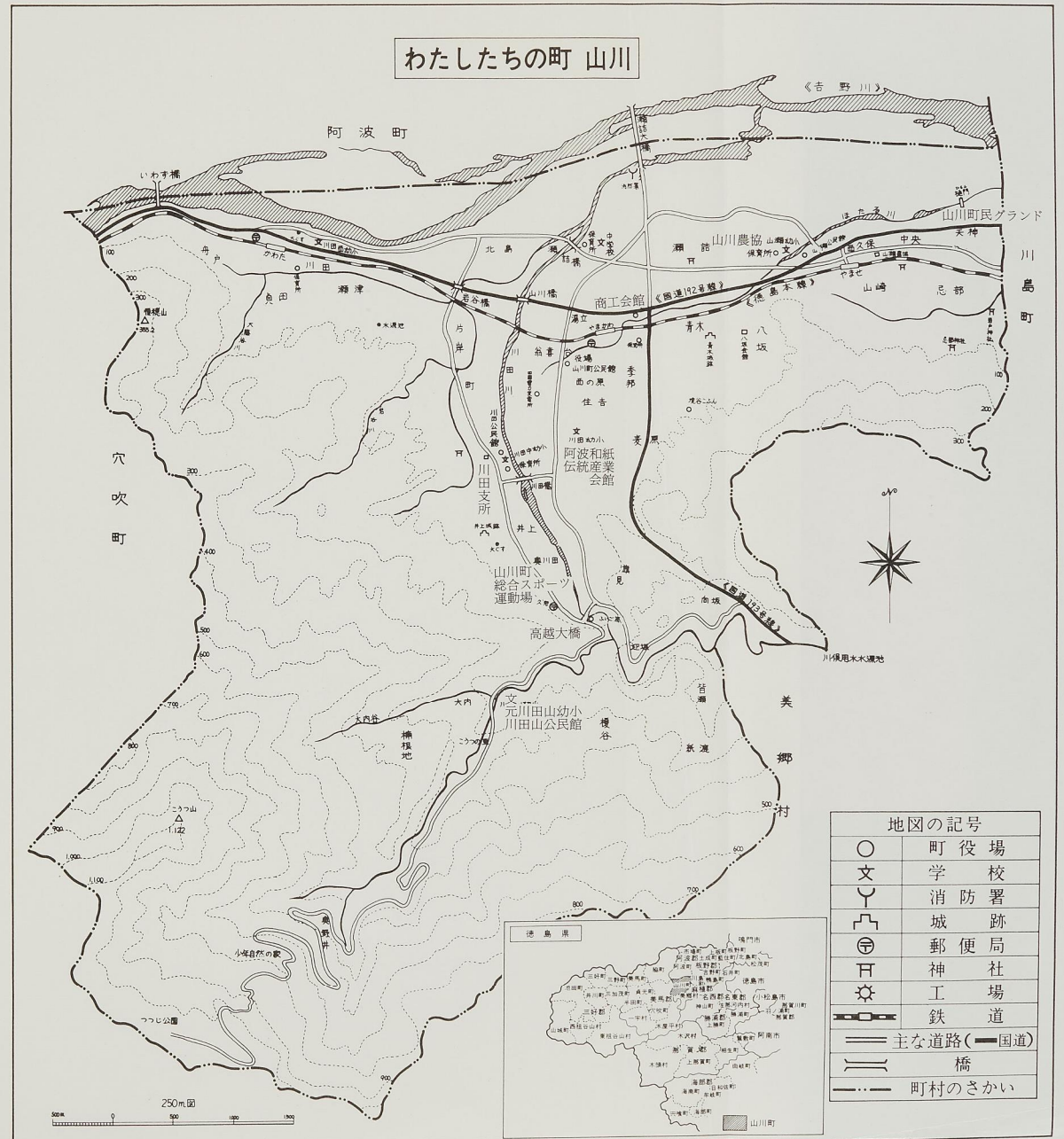
編集 山川町教育研究所
大栗春雄

発行 山川町教育委員会

印刷所 徳島県教育印刷株式会社

※なお、本書の編集に際し、初版本等を参照させていただいたこと及び、関係諸機関のご協力を賜ったことに対し、心からの感謝を申し上げます。

わたしたちの町 山川



地図の記号

○	町役場
文	学校
フ	消防署
⊃	城跡
⊕	郵便局
卍	神社
⚙	工場
—+—	鉄道
—	主な道路 (—国道)
—	橋
---	町村のさかい

小 学 校 年 組	
名 前	